

情 報 公 開 文 書

研究の名称	術後の炎症反応におよぼすレミゾラム麻酔の影響
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	武部真理子 (富山大学附属病院手術部)
研究の概要	【研究対象者】 2023 年 9 月 8 日から 2024 年 10 月 23 日の期間に当院でロボット支援下前立腺全摘術を受けた方で、かつ「周術期の血中サイトカイン変化量におよぼす全身麻酔薬の影響：オープンラベルランダム化比較試験」に署名同意いただいた患者さん。 【研究の目的・意義】 本研究では、術後の検査値および体温変化などの術後記録を用いて、レミゾラム麻酔の炎症軽減効果を検討します。これにより、全身麻酔の質の向上および術後合併症の軽減が期待されます。 【研究の方法】 後ろ向きの観察研究。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日 【利益相反の状況】 本研究に関係する企業は存在しないため、申告すべき利益相反はありません。 【研究結果の公表の方法】 本研究結果は日本麻酔科学会で発表予定です。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	手術前後の検査値や患者年齢や既往歴などについて診療録より抽出します。得られた情報について統計解析を行います。他機関への提供の有無はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	富山大学附属病院手術部 武部真理子
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7377 FAX 076-434-5040 E-mail takebem@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学附属病院手術部 武部真理子